

勤労福祉施設のあり方検討の結果報告について

1 結果

勤労会館（Uホール）と勤労青少年ホーム（アイミティ浜松）の勤労福祉施設のあり方について検討を行った結果、勤労青少年ホームを拠点施設として機能統合し、新たな勤労福祉施設として位置づける。

2 経過

- ・令和3年9月8日環境経済委員会において、勤労福祉施設（勤労会館と勤労青少年ホーム）のあり方検討を始めることについて報告
- ・令和3年9月22日に中区自治会連合会へ報告
- ・令和3年10月22日、25日に第1回目の利用者説明会を開催（全4回）
- ・令和4年2月21日環境経済委員会において、対象施設の状況及び第1回利用者説明会における利用者からの意見等について報告
- ・令和4年2月22日、25日に第2回目の利用者説明会を開催（全4回）
- ・令和4年3月14日に中区自治会連合会へ報告
- ・令和4年3月23日に中区協議会へ報告

3 利用者意見集計結果

(1) 施設の今後のあり方(機能統合)について(個別対応等により意見が変化したものを含む。)

- ・理解を示す意見 77%
- ・施設の存続を望む意見 4%
- ・意見の表示なし 19%

(2) 施設の改修等について(意見数106件)

- ・ホールについて 1件
- ・会議室について 27件
- ・駐車場について 11件
- ・テニスコート・体育館について 23件
- ・予約開始時期、利用料金等について 6件
- ・ユニバーサルデザイン化等について 21件
- ・その他施設の改修に関する事 17件

4 今後のスケジュール(予定)

	R4	R5	R6	R7	R8
利用者への説明	◆第3回目説明会 ◆代替施設等個別相談の開始	◆施設予約停止・ 工事休館等のお知らせ	◆機能統合後施設の 改修概要・利用料金・ 予約開始時期等のお知らせ		
勤労会館 (Uホール)	指定管理期間 1年間	【予定】指定管理期間R5～R7			【予定】機能統合 リニューアルオープン
勤労青少年ホーム (アイミティ浜松)	指定管理期間R2～R6			★40年経過 【未定】指定管理期間R7orR8～5年間	大規模改修(休館)

勤労福祉施設のあり方検討に係る利用者意見

令和4年5月13日
産業部産業振興課

1 説明会の概要

(1) 第1回目説明会

開催日 令和3年10月22日、25日（昼2回、夜間2回 計4回開催）
開催案内 392団体へ発送、施設掲示、浜松市HP掲載
説明会参加 52団体 55名出席
HP動画配信 10月26日～11月1日（7日間）視聴回数122回
募集期間 令和3年10月22日～12月10日（50日間）
意見数 103件(54団体)

(2) 第2回目説明会

開催日 令和4年2月22日、25日（昼2回、夜間2回 計4回開催）
開催案内 320団体へ発送、施設掲示、浜松市HP掲載
説明会参加 35団体 39名出席
HP動画配信 2月26日～3月4日（7日間）視聴回数74回
募集期間 令和4年2月22日～3月18日（25日間）
意見数 60件(21団体)

2 利用者説明会における利用者意見集計（個別対応等による意見の変化を含まない。）

(1) 機能統合について（第1回、第2回説明会後意見）

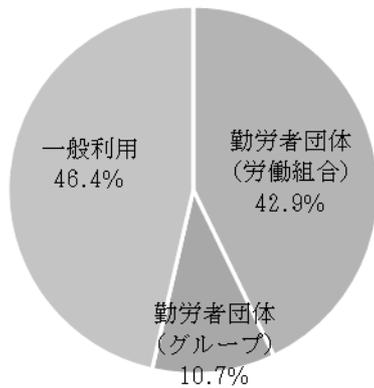
単位：団体

区分	総数	機能統合を理解	勤労会館の存続を望む等※
勤労会館利用者	28	18	10
勤労者団体（労働組合）	12	12	0
勤労者団体（グループ）	3	0	3
一般利用	13	6	7
勤労青少年ホーム利用者	20	15	5
勤労青少年団体	3	3	0
勤労青少年福祉関係団体等	6	3	3
一般利用	11	9	2
計	48	33	15

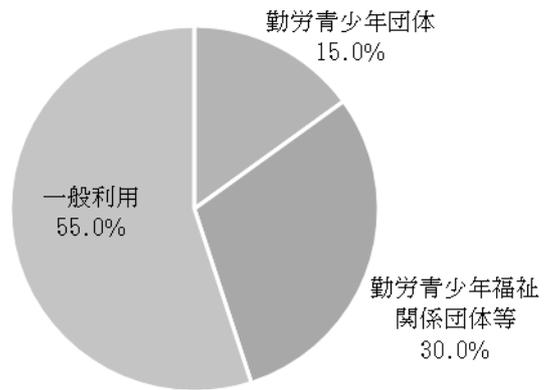
※勤労会館の存続、両施設の存続を望むもの

(2) (1) における団体の内訳（施設ごと・利用者区分ごと）

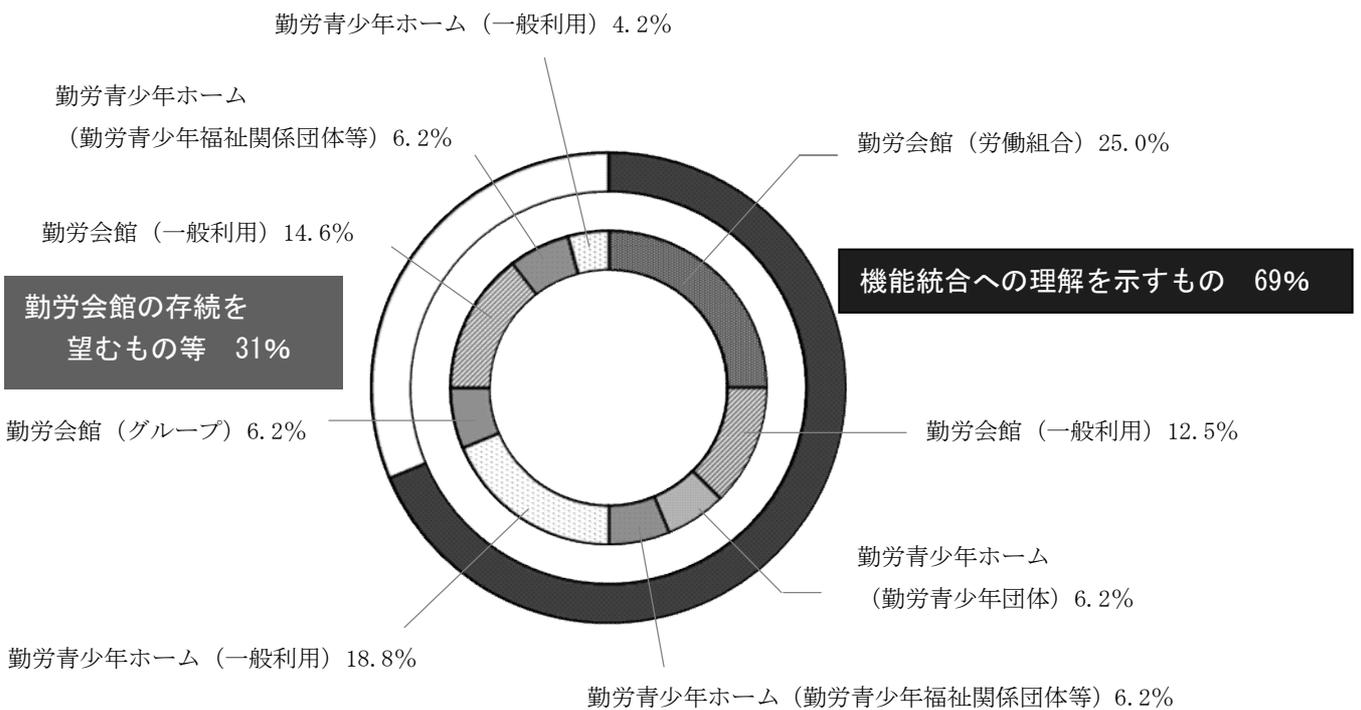
勤労会館利用者



勤労青少年ホーム利用者



(3) 意見別、団体別の割合



3 利用者意見とその意見に対する市の考え方

(1) 施設の今後のあり方(機能統合)について(56件)

<第1回説明会后提出意見>

勤労会館機能を勤労青少年ホームに統合することについて理解する。機能統合後も勤労者団体の優先利用を維持してほしい。(9件)
勤労会館機能を勤労青少年ホームに統合することについて市の方針に同意する。
予算的に両施設を改修するのが難しいことは理解できる為、機能統合について理解する。
勤労会館機能を勤労青少年ホームに統合することについて理解する。

【市の考え方】

本市は、これまで経験したことのない少子高齢化に伴う人口減少を前提とし、2014年(平成26年)12月に30年後の未来ビジョンとその道筋を示した「浜松市総合計画基本構想・基本計画」を策定しました。

人口減少に起因する資産の遊休化、稼働率の低下、税収減少の懸念、老朽化が進む資産の維持管理、改修・更新経費の増大、更には、本市における改修・更新経費の実績をふまえると、すべての資産を従来どおり将来にわたり維持管理していくことは不可能な状況と考えられます。

こうした浜松市をとりまく課題に対応するため、タテモノ資産や道路等インフラ資産を含めた市が保有する全ての資産を対象に、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として「浜松市公共施設等総合管理計画」を2016年(平成28年)3月に決めました。

「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設に対するニーズの変化や各施設の状況等をふまえ、勤労会館と勤労青少年ホームの2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。

勤労者のためであれば、一つになってもよい。立地を生かしてリニューアル。今必要な違う目的のために生まれ変わってほしい。
本来の目的での利用が少ないこと、浜松市の人口減少の可能性を考えると、大人の今だけの都合で、これからの子ども達に負担を残すべきではないと考える。2つの施設を統廃合し、これからの社会を生きる子どもや若者たちも使用できる施設を作ってほしい。
浜松市の将来の人口減少を考えると勤労会館は続けるべきでない。利用者側も勤労青少年ホームと他施設利用で再考すべき。将来の財政を支える側の負担を考えると浜松市も国全体も同じ。発想の転換が必要。外国人を入れ、治安や教育に力を入れて、国、社会を発展させていけば、良い方向が見いだせるのではないかと。
市の資産経営及び機能統合により、長寿命化を図ることに賛成。機能統合の際は、老朽化した設備の改修は急務だが、それぞれの施設をある程度保管できる形を整えてほしい。

【市の考え方】

今後40年間を見据え、2つの勤労福祉施設を機能統合し、拠点と定める施設を大規模改修することにより、施設の利便性が向上するとともに、将来にわたり財政的な負担が軽減します。こうした取組により、人口減少をはじめとする浜松市をとりまく課題に対応し、安全・安心で質の高い市民サービスの提供が可能となると考えます。

長年利用しており、立地面や金額面を考慮した結果、ありがたく使用している。若い世代も増え、外部にもPRしており継続してほしい。
勤労青少年団体として、長年にわたり勤労青少年ホームで活動してきた。今後も末永く活動していきたい。
今後も勤労青少年ホームでテニスをしたい。

【市の考え方】

機能統合後において、勤労青少年団体の優先利用を維持し、登録団体として利用していただけるよう検討します。

「勤労青少年福祉法」に基づき施設が設置された時代より、少子高齢化が進み生活・労働環境が変化している。時代のニーズにあった対応をする必要がある。勤労青少年ホームは、稼働率が良好で市民活動が盛況。コミュニティ文化センターのような名称で勤労青少年ホームを継続してほしい。

老朽化に伴う統合についてはやむを得ないと思う。統合後の運営については利用団体の状況をみて検討したほうがいい。

【市の考え方】

将来の浜松市をとりまく、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応するため、タテモノ資産や道路等インフラ資産を含めた全ての資産を対象に、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として定めている「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づき、勤労会館と勤労青少年ホームの2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。

条例に基づく勤労福祉施設としての位置づけは維持し、施設名称等については今後検討していきます。

市体育館の取壊しにともない、勤労青少年ホームの体育館を利用している。市内中心部の体育館として継続して欲しい。

【市の考え方】

勤労青少年ホームの体育館は、勤労福祉施設としての位置づけであり、拠点施設を定める場合は、体育館のあり方についても検討していきます。

なお、本市のスポーツ施設は「浜松市公共施設等総合管理計画」により、浜松アリーナ等の「広域施設」、サーラグリーンアリーナ等の「市域施設」、浜北体育館や雄踏総合体育館等の「地域施設」、学校体育館等の「生活圏域施設」等に分類し、その利用圏域区分に応じた整備方針に基づき、施設の配置を行っていきます。

「広域施設」市内だけでなく国内・外からの集客を目的としたコンベンション機能を持つシンボリックな施設。

「市域施設」市域全体での利用を基本単位とし、各用途における業務・活動拠点の中心として位置づけられる施設。

「地域施設」行政区域内程度の利用を基本単位とし、他の利用圏域に属さない施設。

浜松市各地区から集まる会議に使用しており、勤労青少年ホームは市の中心部にあるため便利。今後も継続して利用したい。

勤労青少年ホームの方が駅に近くバス停等立地条件がよく、駐車場もあるため存続することを希望。

機能統合しても会議室機能を維持してほしい。勤労青少年ホームは駐車場が多くて利用しやすい。

勤労青少年ホームは立地条件が良く、無料駐車場もあり各種利用に好評。人口減少をくい止める手段として魅力ある施設にするべき。

統合しても体育館の存続を希望。

稼働率の低い勤労会館は閉鎖し、必要な機能は機能統合先に融合して存続することが妥当と思う。勤労会館の跡地を売却し機能統合先の施設の再建に充てることできれば駐車場の開拓もできるのではないか。

現状の勤労青少年ホームの利用状況を外部から見ると最高の施設だと思う。利用状況を見て統合することを考えるべき。将来を考え統合せざるを得ない施設を廃止し、交通の便を配慮した施設との統合を考えるべき。

建物の老朽部分が少なく、駐車場が大きく使いやすいため勤労青少年ホームに統合希望。勤労会館は、駐車場まで遠く、交通量の多い道路を横断しなくてはならない。特に雨の日等は利用しにくい。

【市の考え方】

将来の浜松市をとりまく、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応するため、タテモノ資産や道路等インフラ資産を含めた全ての資産を対象に、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として定めている「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づき、2つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。機能統合後、拠点とならない施設のあり方については、市の公有財産の活用企

画や管理指導を行うアセットマネジメント推進課と協議していきます。

勤労青少年ホームに勤労会館 23 会議室（定員 126 人）のような大会議室がないため、勤労会館の存続を希望する。

【市の考え方】

機能統合する際、勤労会館 23 会議室（定員 126 人）のような大会議室を拠点と定める施設において整備することを検討します。

「勤労者の施設」にしばられなくともよい。

【市の考え方】

勤労会館、勤労青少年ホームは条例により設置される施設です。

条例では、勤労会館は、「勤労者等の文化及び福祉の増進を図るため設置する」、勤労青少年ホームは、「勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を図るため設置する」と規定されています。条例の趣旨に基づき、「勤労者のための施設」として機能統合を検討します。

なお、文化活動を目的とした施設についても、同様に条例により設置されており、利用される方の目的に合う施設をご利用いただくことができます。

どちらの施設も築年数が変わらず、修繕できれば問題ない範囲なのではないか。

勤労会館、勤労青少年ホームにそれぞれの良さがあるため、両施設を存続してほしい。（2 件）

勤労会館の利用はほとんどないが、市内各団体の活動の場としてなくてはならない施設だと思われる。今後とも維持することを希望。

納税者の立場として機能統合はやむを得ないと考えられる。しかしながら利用者としては両施設とも地域に根付いた必要不可欠な施設であり、そのまま利用できることを望んでいる。最近の新しい施設は郊外に建てられることが多く、街中心部にある施設は貴重。両施設も計画的に大規模改修を行うことを前提に新たな利用者や収益事業等を考え利益を生み出せる施設にしていけば地域も盛り上がると思う。

機能統合の必要性は理解できるが、市役所の機能をプラスアルファして、両施設を残せる形で検討してほしい。クラッシュ&ビルドより両施設を残すことを希望。

【市の考え方】

「浜松市公共施設等総合管理計画」では、浜松市の将来の概況、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応し、安全・安心で質の高い市民サービスの提供と持続可能な行財政運営を両立するためにも延床面積の縮減が必要であると示されています。

勤労会館については、2020 年（令和 2 年）に給水配管の老朽化による大規模な漏水の発生や 23 会議室の空調機の故障により、利用者の皆さまへご不便をおかけする等、老朽化の課題に直面しており、小規模な修繕では対応できない状況となっています。

また、2020 年度（令和 2 年度）の包括外部監査では「将来的な視点では、その時の利用状況を踏まえ、統廃合や複合化を検討することも必要であると考えられる。」と意見が出されました。

こうしたことから、2 つの勤労福祉施設の機能統合に向けて具体的な検討を進めます。拠点と定める施設については、利用者の皆さまのご意見を参考に、より利用しやすい施設へ整備することを検討します。機能統合について、ご理解いただきますようお願いします。

勤労会館は、同規模の福祉交流センターと比べても音質がよく、音楽の街として浜松の大切な財産。もし使えなくなるのであれば大きな損失。勤労会館が利用できない場合、福祉交流センターの予約が混み合う。

【市の考え方】

将来の浜松市をとりまく、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応するため、タテモノ資産や道路等インフラ資産を含めた全ての資産を対象に、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として定めている「浜松市公共施設等総合管理計画」において、勤労会館を含む地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、必要に応じて近隣類似施設への複合化を

含めて検討することが示されています。

福祉交流センターなど他施設利用については、利用目的や利用人数、施設の特性等を考慮したうえで、最も適切な施設の利用方法や登録団体の要件等をご案内いたします。

市の中心に定員 500 名程度のホールが必要。遠方では集客が難しく、金額面でも勤労会館が適しています。

近隣であるため、行事でホールを使用。勤労会館を存続してほしい。

勤労会館は演劇や音楽会等の用途に親しまれてきた。演劇やダンス等には舞台袖、袖幕が必須。勤労会館は浜松市に現存する数少ない舞台袖を有した劇場。公演ジャンルにより、劇場の棲み分けが必要で、アクトシティに適するものばかりではない。勤労会館のホールが無くなったら、浜松市の文化を育てる土壌が失われる。

音楽をやっている人にとって、本格的な舞台での演奏経験はとても貴重なもの。浜松が音楽の街というのなら、趣味として音楽をやっている人が、音楽技術を高めるため、舞台での演奏は欠かせない。発表会等では舞台は広くほしいがキャパは 300 程度で十分。福祉交流センターは反響版を使うと緞帳が使えず、アクト中ホールは緞帳がなくキャパが多すぎる。勤労青少年ホームは練習場所としてしか使えない。クリエートはキャパは良いが舞台は不安定、広さも不十分、楽屋も使いにくい、客席も可動式で使いづらい。都田の音楽ホールは、車を持たない高齢者には遠すぎる。はまホールの場所になぜ建て替えができなかったのか。勤労会館は駅から近くタクシーにも気軽に乗れる距離でバス停も近い。ぜひ勤労会館を残してほしい。市は、採算のことだけ考え、音楽の街と言っているだけで、実際教室を主宰し、発表の場を探すのに苦労している人間のことなど何も考えていない。

【市の考え方】

「浜松市公共施設等総合管理計画」では、浜松市の将来の概況、人口減少、それに伴う市税等の減少や社会保障関連経費の増大、施設の改修更新時期の一極化等の課題に対応し、安全・安心で質の高い市民サービスの提供と持続可能な行財政運営を両立するためにも延床面積の縮減が必要であると示されています。さらに、ホール等の施設については、2020 年（令和 2 年）3 月に策定された「浜松市文化振興ビジョン」において、市民が良質な文化芸術や伝統文化に気軽に接することができるよう、必要な施設の整備、維持管理を行うとともに、社会環境や市民ニーズの変化をふまえ、施設の設置意義や役割の見直し、施設の更新や運営の検討を行うこととしています。

今回のような機能統合を検討する中で、拠点と定める施設のほか、運営が継続される施設等を最大限活用し、本市の文化資源を活かすとともに、市民による文化芸術などの創造的活動の促進を図り、文化の創造と発展そして持続的な循環が行われる都市を目指します。

勤労会館 24 会議室は、はまホールの練習室の代替部屋。ダンス用リノリウム(床材)の常備、大きな鏡、防音室があることに加え、和室、会議室も控室として利用している。勤労会館の改修を望む。

【市の考え方】

機能統合の際は、会議室が不足することがないように検討します。また、勤労会館 24 会議室（定員 48 人 鏡つき・防音室）の機能については、拠点と定める施設において整備することを検討します。

勤労会館の存続希望。勤労会館の場所が良くて通っている方が多くいる。勤労会館がなくなると不便。子ども達の学びの場を奪わないでほしい。

近隣（城北、元城、中沢、広沢、下池川、蜷塚等）の方々が通っている。施設の面ではエレベーターがなく大変だが駐車場も有り助かっている。勤労青少年ホームの施設の統合についてはエリアが違うため反対。費用のかからないリニューアルをしていただき今後も使用したい。

ホールがなくても、市民が利用しやすい場所として、できればこの場所で存続してほしい。

年齢的に遠くの会場に通えない状況。競争して会場確保に向くことは困難。勤労会館に必要な改修（地震対策の補強、防水、塗装、内装の改造補修、エレベーターやエスカレーター等の追加変更等）をして継続して利用したい。

【市の考え方】

機能統合の際は、どちらかの施設を拠点的施設と定めることとなります。会議室の部屋数が不足することがないように検討するとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設への改修を検討します。

また、勤労会館については、2020年（令和2年）に給水配管の老朽化による大規模な漏水の発生や23会議室の空調機の故障により、利用者の皆さまへご不便をおかけする等、老朽化の課題に直面しており、小規模な修繕では対応できない状況となっています。

機能統合について、ご理解いただきますようお願いいたします。

今後、勤労会館が無くなったら、鏡付きのレッスン室を探さなくてはならない。都合のよい時間帯に部屋を取れるかどうかが一番気がかり。

【市の考え方】

機能統合の際は、会議室が不足することがないように検討します。また、勤労会館24会議室（定員48人 鏡つき・防音室）の機能については、拠点と定める施設において整備することを検討します。

<第2回説明会後提出意見>

勤労会館が廃止されることはとても寂しいが、機能統合は止むを得ないと思います。

止むを得ない選択と思います。予算を集中し、より利用し易い施設となることを希望します。

「勤労者のための施設」としての機能統合は理解できます。また、「勤労青少年ホーム」を拠点とする機能統合についても適切だと思います。ただ、施設が設置、運営されてきた頃よりも少子高齢化が進み、生活・労働環境が昔と大きく変わってきています。時代のニーズに合わせた新施設への対応が必要と思います。

【市の考え方】

勤労青少年ホームを拠点に新たな勤労福祉施設として管理運営いたします。運営等にかかる詳細につきましては、利用者の皆さまのご意見を参考に今後検討を進めます。

機能統合後も現在の活動が存続できることが分かりました。機能統合後は、勤労青少年に限らず、幼児～高齢者まで利用できればすばらしい。

【市の考え方】

機能統合後も「勤労者のための施設」として運営を行います。一般の方にもご利用いただけるように調整を行います。

機能統合するまでの間、勤労会館をできる限り維持して運営してほしい。

【市の考え方】

2026年度（令和8年度）の機能統合に向けたスケジュール案のとおり、2025年度（令和7年度）末まで勤労会館の運営を行います。

現在の場所での勤労会館の存続を希望。（2件）

【市の考え方】

勤労会館については、給水配管の老朽化による大規模な漏水の発生や館内空調機の故障など老朽化の課題に直面しています。機能統合は、将来にわたる浜松市の健全な運営に必要な取組となりますので、ご理解いただきますようお願いします。

(2) 施設の改修等について (106 件)

ホールについて (1 件)

発表会・講演会などが開催可能な客席つきホールの設営。

会議室について (27 件)

勤労会館 23 会議室 (定員 126 人) のような大会議室が必要。(5 件)

機能統合に伴い、ダンス練習を目的とする利用が増えると思われるため、会議室兼ダンス練習室を 2 部屋以上設置してほしい。(3 件)

防音室、壁面鏡の設置、ダンス用床 (リノリウム) 常設、スピーカー、音響装置の設置希望。床はコンクリート直貼りを避けてほしい。(2 件)

会議室を増やしてほしい。(2 件) 部屋数が少ないため予約が困難。

施設の老朽化を感じていた為、エアコン・トイレ等の改修は必要。コロナの影響によりリモート会議の機会が増加しており、高速のネット通信環境、オンライン会議用の設備 (モニター、音響設備) があるとよい。駅前を中心に低価格の貸会議室が増えており、利用のしやすさが求められる (web 予約画面の使い易さ等)。勤労者が気軽に利用できるブース (テレワークブース) など他施設との違いを生むことで利用者の使い易さにつながるのではないかと。

ディスプレイ・プロジェクターの常備された部屋が必要。Wi-Fi の整備希望。機材搬入口 (荷物等の搬入口) が必要。会議室の大きさに見合ったスクリーンの設置を希望。会議室のコンセントの数が少ない。換気設備が弱い為、感染症対策のため会議室のドアを開放すると音が漏れて他の会議室の迷惑になる。適切な換気設備を設置してほしい。機能統合した場合、会議室が不足すると考えられる。

会議室のインターネット回線整備。

小さい会議室の設置を希望。会議室に大きなスクリーンの設置を希望。

研修での利用ができるよう、大会議室へプロジェクターとスクリーンの設置を希望。ユニバーサルデザインを希望。

勤労会館 24 会議室 (定員 48 人防音室) のような鏡張りの部屋が複数必要 (防音、防振)。ダンスの練習室設置希望。床は木材でコンクリートに直貼りしないほしい。フラメンコシューズ (釘あり) もリノリウム等で使用可としてほしい。簡単に準備・片付けができるリノリウムの設置希望 (そのまま使える床がベスト) 鏡 (180×90) を 6 枚以上、部屋の長い辺側に設置希望。音響設備の設置希望。2~3 人で利用できる小部屋 (防音) が欲しい。1 人~数人で自主練習ができるような設備の部屋を確保してほしい。敷地内に利用者分の駐車場の整備希望。バスのアクセスを良くしてほしい。ホワイトボードの設置。

ダンスを目的としている団体が多い。明るい雰囲気、姿見 (鏡)、音響、照明設備、防音、足膝腰に優しい板張りフロアの部屋を複数用意してほしい。

音出しができる部屋が複数ほしい。音楽室にもっとスペースがほしい。

企業会合、子育て支援のための講習、趣味・学習の場になるような会議室兼講習室の整備、映像を映し出すための投影機器等の設置。床マットの部屋 (児童室、運動、床に座って演奏する楽器の練習、床で作業が必要な教室等用) 鏡付の部屋 (ダンス練習等大・小)。

稼働率の低い部屋から時代のニーズに沿った部屋へリノベーションし、稼働率の良い部屋への改修を希望。

勤労会館と同様に、大会議室と同じフロアに会議室が 4~5 部屋必要。

会議室 (定員 40 人~50 人) を増やしてほしい。(3 部屋必要)

ホール利用の方の控室と会議室は別に用意してほしい。

コロナ禍において web 会議が増えているため、大会議室が 40 年後にも必要とは思わない。会議室を増設するなら、小規模な会議室 (定員 15 人程度) を作り設備を充実させてほしい。

防音の会議室を整備して欲しい。

駐車場について(11件)

ホールの機能としてはそのまま、駐車場を十分に確保。(2件)
勤労青少年ホームの駐車場の幅が狭いため大きくしてほしい。ラインを引いてほしい。(2件)
勤労青少年ホームの南駐車場の出入口の道路の整備。
駐車場整備。
勤労青少年ホームの駐車場出入口の不都合解消のため、テニスコートを南駐車場一番南側に移動して、分断されている駐車場をつなげる。北東出入口から堤防沿いの道に流れを作り、施設より北側からの出入りができるようになれば西側道路が渋滞しない。
駐車場を確保してほしい。
現状でも勤労青少年ホームの駐車場が満車になる時がある。駐車場を増設した上で、会議室の増設を考えるべき。
会議室の増設が計画され、駐車場が不足するならば、2階建ての駐車場を考えるべき。
駐車場を完備してほしい。

テニスコートについて(13件)

オムニコート、現状の人工芝のコートを希望。(7件)
西日対策希望。(2件)
東側のフェンスを高くしてほしい。
フェンスが低いので川沿いはボールが外に出ると戻ってこないし、西面は近隣の家に迷惑をかけてしまう。
浜松駅周辺のテニスコートが少ないので、テニスコートの面数を増やしてほしい。
夜間のテニスコートを一般に貸し出すようにしていただきありがたい。無人対応できるように工夫して土日の早朝も貸し出すことができれば稼働率が上がるのでは。

体育館について(10件)

体育館の天井のあかり窓がまぶしいのでなんとかしてほしい。(2件)
騒音防止の為、窓を閉めて活動をしているので体育館に空調設備を整えてほしい。体育館の床が滑りやすいため、定期的なメンテナンスをしてほしい。※床については、令和3年度対応済
床が滑りやすいため、定期的にメンテナンスをしてほしい。※床については、令和3年度対応済
使い勝手の良い体育館へ改修を希望。
体育館の時計を大きくし、見やすい場所に変更してほしい。
バトミントン用のポールが経年劣化で傷んでいる。購入してほしい。
倉庫(体育器具庫)の照明を明るくしてほしい。※令和4年度対応予定
体育館の掃除用具(モップ)を新しくしてほしい。※令和4年度対応予定
体育館出入口のドアが重い。改善してほしい。※令和4年度対応予定

予約開始時期、利用料金等について(6件)

長期の計画ができる予約制度としてほしい。(1年前からの予約開始希望)(2件)
機能統合後も登録団体の優先利用を維持してほしい。(2件)
予約開始日が遅く、年間の実施予定が立てにくい。
利用料金を検討する余地があると思う。

ユニバーサルデザイン化等について(21件) ※類似意見を集約

エレベーターの設置希望。
トイレの洋式化、トイレ増設。
ユニバーサルデザインに基づいたどんな人にも優しい施設に。
車いす用の駐車スペース設置希望。
エアコン設置。
感染症対策のために自動水栓化。
エスカレーターを設置希望。

洋式水洗トイレの完備希望。

その他 施設の改修に関すること (17 件)

勤労青少年ホームの場合、道路が狭く車での移動が心配。駐車場から出る際、一方通行で信号もないため、混雑時は大変。バス停からの道も狭く、荷物を持参するので危険。

勤労青少年ホームの美術工芸室の作業工作台が合板のため、彫刻作業がしにくい。無垢板に交換してほしい。

勤労青少年ホームのホールのピアノが古く、足車が故障している。新しいピアノに交換してほしい。※ピアノ足車については令和4年度改修予定

勤労青少年ホームのロッカーの広さ、水回り設備などの改善・改修が必要。

施設案内・看板の完備希望。

一般利用はさせてほしい。

勤労青少年ホームは市街地・住宅街に設置されているため、夜間利用の場合の防音対策等にも配慮してほしい。

地震、省エネ等の対策を加味しての改修希望。太陽光発電、太陽光利用の吸収式冷暖房、窓の断熱等。

一般団体から優先団体へ登録する方法を教えてください。

機能統合により従来から利用している団体の予約が難しくなった場合、代替可能な別施設への優遇を検討してほしい。

大規模改修時の代替施設の優先利用等を検討してほしい。

大規模改修は出来るだけ早めの方が望ましい。大規模改修は2025年(令和7年)の予定だが、1年前に通知されれば、活動の代替施設等の事前準備が可能。

大規模改修中も利用できる箇所から利用をさせてほしい。

施設改修中も建物を使いながら改修してほしい。活動を止めてしまうと高齢者は体が動かなくなるため。

大規模改修は出来るだけ短期間で実施してほしい。

勤労会館廃止後の跡地利用をしっかりと考えてほしい。はまホールのようにならないように大切に跡地利用を考えてほしい。

税金の使い道によっては、浜松市の魅力が増して人口も増えると思う。

若い人達に来てもらえる子ども中心の町にしてほしい。

大規模改修について具体的な改修プラン(完成イメージ)を教えてください。

【市の考え方】

ご意見、ご要望を参考に、拠点と定める施設については、より利用しやすい施設となるよう検討します。工事内容によっては全館休館となる可能性があります。その場合、休館中の代替施設について、あらためてご案内いたします。

(3) その他（1件）

説明会資料に関すること（1回目説明会提出意見）

勤労会館が老朽化していて利用率が低いという資料に対して、利用者側から見ると勤労会館も予約が取りづらく（特に土日）、いただいた資料の数字に違和感がある。利用率で比較していたが、施設の用途が異なるため参考にならないのではないかと。10月22日19時の説明会の参加者は5名。コロナで施設利用を控えている方もいるはず。情報がいきわたっているのか。説明会の中で「勤労会館の利用率改善に努めた」という内容があったが、どのような対策があったのか利用者側からは分からなかった。勤労会館を勤労青少年ホームに統合するという前提で驚愕している。

【市の考え方】

第1回目の説明会の開催周知については、施設への掲示や市HP掲載のほか、2施設の全ての登録団体50団体及び一般利用342団体に案内通知を発送しました。説明会動画については、7日間公開し、122回の視聴がありました。

勤労会館は指定管理者制度を導入し、指定管理者が民間ノウハウをもとに運営にあたっており、23会議室にWi-Fiを導入する等の改善により、稼働率の向上に努めてきました。こうした取組について、毎年行われる施設運営の評価では「指定管理者は、当施設の運営に慣れている一方で、前例踏襲となっており、改善に取り組む姿勢に乏しい面もある。」と評価され、2020年度（令和2年度）においては、経年劣化により不具合があった会議室の机を更新したり、勤労会館の魅力を発信するためにSNSを活用した広報を実施する等の改善を行いました。

しかしながら、人口減少をはじめとする浜松市をとりまく課題に対応し、将来にわたり、安全・安心で質の高い市民サービスの提供と持続可能な行財政運営を両立するため、公共施設のあり方を検討するなかで、勤労会館と勤労青少年ホームの機能統合を検討するものです。

（第2回目説明会においてご理解をいただきました。）